キャラクター名
荒木ハルト

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン サラマンダー	ワークス	UGNチルドレンA	カヴァー	中学生
オプショナル		年齢	14	性別	男
覚醒	素体	衝動	破壊	初期侵食率	32 %
出自	天涯孤独	経験	敵性組織	邂逅	殺意

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	3	1	0			4
感覚	1	0	0			1
精神	2	0	0			2
社会	2	0	0			2

HP	30
行動値	4
(非装備時)	4
戦闘移動	9
全力移動	18

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	2		射撃			ＲＣ	1		交渉		
回避	2		知覚			意志			調達		
運転：			芸術：			知識：			情報 :UGN/+1	2	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
光炎万丈	白兵	14r+2	7			60%以上：①+②+③+⑥+⑦ 侵+12 HP-1d+3
光炎万丈	白兵	15r+2	7			80%以上
光炎万丈	白兵	18r+2	7			100%以上
光炎万丈	白兵	19r+2	7			130%以上

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品

ロイス

対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
賢者の石	P	N		
荒木レイカ	P 好意	N 疎外感		
伊庭宗一	P 感服	N 脅威		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 4	残り財産P：

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果： 非オーヴァードのエキストラ化								
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果： コスト分のHPで復活								
コンセントレイト:ハヌマーン	3	侵+2	メジャー					
効果： C値を-LV(下限値7)								
炎神の怒り	3	侵+3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ			【肉体】		
効果： ダイスを+[LV+1]、HPを-3								
電光石火	3	侵+3	ﾒｼﾞｬｰ/ﾘｱｸｼｮﾝ			【肉体】/【感覚】		
効果： ダイスを+[LV+1]、HPを-1d10								
白熱	3	侵+3	マイナー	至近	自身			
効果： 素手:技能<白兵>攻撃力+[LV×5]ガード値4								
リミットリリース	1	侵+6	オート	至近	自身		100%	
効果： シナリオ中1回C値-1(下限値5)								
一閃	1	侵+2	メジャー	武器		白兵		
効果： 全力移動の後白兵攻撃可								
音速攻撃	1	侵+2	メジャー	武器		白兵/射撃		
効果： 攻撃のダイス+LV								
	★							
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								
効果：								

とある女子高校生(18)と教師(32)との間にでき、女子高生が流産をせず親の反対を押し切って産んだ未熟児が、荒木ハルトである。
呼吸機能が中々に適応しないからか、徐々に死につつあったハルトを親は喜び、医者は仕方ないと命の灯が消えるのを待っていたとき、FHエージェントが誘拐。
FHのセントラルドグマと呼ばれる中核機構の研究素材になり研究の末、3歳でオーヴァードとなる。その際に右足の甲に賢者の石をつけられた。

12歳のとき、FHチルドレンとして組織内ではレオンハルトと呼ばれながら活動しているとき、伊庭宗一の標的となり一戦交えることとなった。
伊庭宗一の圧倒的戦闘力に死の淵まで追い詰められた際、UGNエージェンドの荒木レイカ(30)によって伊庭宗一の脅威から逃れることが出来た。
伊庭宗一は「必ずお前を殺す」という言葉だけを残し、ハルトにとって大きな人物となる。

その後、UGNに保護され伊庭宗一から逃れるためにFHを離脱。UGNチルドレンとして活動することになり、普段は中学生として生活している。
荒木レイカの計らいで「レオンハルト」から「荒木ハルト」に改名。
ハルトにとって荒木レイカは母親のように慕っているし、荒木レイカも息子のように扱っている。
そうして荒木レイカの義弟となったが、レイカもハルトも実子なこと、実母なことを知らない。二人は奇跡的に再会を果たしていた。
実父の教師は一連の出来事を報道され、精神的苦痛から自殺を遂げている。

元FHだと思えないような温和な好青年。UGNに入って2年の歳月が経っているがやっと敬語が使えるようになった。
ハルトはオーヴァードとなった際の経験から大勢の人間の拍手や賞賛の言葉をもらうことが苦手である。
また今までまともな教育を受けてこなかったため、語彙力があるかわりに発想がやや危なっかしい。正直な性格なため辛辣なことも言う。
賢者の石は普段は包帯で隠し、効果を発揮しない。ハルト自身この石を使用したいとは思っていない。

荒木ハルトは実の両親に会うことを夢見て、今日も体に焔をまとう。